

令和6年11月29日

不完全密封状態の滅菌済手術器材の使用について

兵庫中央病院長 藤原 英利

平素より当院の診療にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、2024年10月16日に当院にて保管が不適切な手術器材を手術に使用していた可能性があることが発覚しました。

患者さん、ご家族さまはじめ、関係者の皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけしますことを、心よりお詫び申し上げます。

手術器材には使い捨てのものと滅菌して再利用するものがあり、当院において再利用する手術器材は、洗浄後に専用の滅菌バッグに入れ、密封・滅菌しております。今回は、洗浄と滅菌は通常どおり行われたものの、一部の滅菌バッグに密封が不完全なものがありました。

当院では2023年11月24日に滅菌バッグを密封する機器を更新しており、その日以降に手術を受けられた患者さんは当事案の影響を受ける可能性があります。これまでのところ創部感染などの健康被害は確認されておりませんが、ご不安に思われることや確認されたいことがございましたら、遠慮なく主治医もしくは下記担当・照会先までお問合せいただきますようお願いいたします。

当事案発覚後は、洗浄・滅菌・保管に不備のない器材を使用しており、今回のような事案が発生しないよう対策を強化していきますので、今後とも当院の診療にご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【担当・照会先】

独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院 事務部長 大野  
電話番号 病院代表 079-563-2121 (平日 8:30~17:15)

※「手術器材の件」とお申し出下さい。